

				沿 革	実 績 (*は原子力機構との共同研究)	
昭和	42	年	4	月	大洗センター設置準備委員会発足	
	44	年	2	月	大洗センター本館(事務・研究棟)完成	
			6	月	大洗センター設置《附属材料試験炉利用施設》 (昭和44年文部省発令第18号) 全国国立大学共同利用開始 大洗センターホットラボラトリー棟完成	
	45	年	9	月	材料照射部門実験棟完成 JMTR試用期間照射試験開始	
	46	年	6	月	JMTR実用期間照射試験開始	
	50	年	4	月		・炭化珪素連続繊維の合成に初めて成功(S50朝日賞)
	53	年	4	月	茨城県原子力安全協定締結	・原子炉精密温度制御照射試験に成功 *
			7	月		・Th-232の崩壊Y線の検出に初めて成功
	54	年	1	月		・有機金属錯化合物を用いた分散強化金属材料の開発に初めて成功
	55	年			核融合特別研究が開始	
	57	年			(RTNS-II)計画が開始	
					弱照射域での核融合・核分裂相関	
	59	年	4	月	第I期 日米核融合炉材料照射協力研究 (RTNS-II)国内研究拠点	
10			月	動力炉核燃料開発事業団(現・原子力機構) 「常陽」利用開始		
63	年	4	月	第II期 日米核融合炉材料照射協力研究 (FFTF-MOTA)国内研究拠点		
				100dpaまでの重照射組織発達・強度特性 重照射領域での律速因子の解明		
平成	1	年	12	月		・微小試験片から標準サイズ試験片までの計装化シャルピー衝撃の可能な試験機を初めて開発(東京衡機製造所と共同開発)
	2	年	4	月	全国私立大学共同利用開始 アクチノイド元素実験棟竣工	
	4	年	4	月	大洗センター分室としてアルファ放射体実験室をおく	・完全温度一定・温度変動制御・引き上げ加速照射試験に成功 * ・原子炉内その場電気抵抗測定照射試験に成功 *
			5	月		・世界最高水準の高純度ウラン単結晶育成に成功
	6	年	4	月		・原子炉内その場光ファイバー測定照射試験に成功 *
	8	年	4	月	第III期 日米核融合炉材料照射協力研究 HFIR(JUPITER-I)国内研究拠点	・高速中性子照射による照射誘起延性向上をMoで初めて発見
					変動・複合環境下での材料挙動	
			9	月		・排水中のアクチノイド核種測定にSm-147内標準法を開発
	10	年	11	月		・水溶液電解法によるネプツニウム金属調製に成功
	12	年	3	月		・陽電子消滅法による鉄鋼材料中の超微小銅析出物の検出・解析法を開発、原子炉圧力容器鋼の照射脆化機構の解明へ道 ・JMTRを用いた国内最初のアクチノイド水素化合物燃料の照射試験に成功
	14	年	4	月	全国独立法人研究機関共同利用開始 第IV期 日米核融合炉材料照射協力研究 HFIR(JUPITER-II)国内研究拠点	
					先進ブランケットの照射下特性とシステムインテグレーション	
	15	年	8	月	全国理工系大学院生を対象とした 「大洗原子力材料夏の学校」開催(以降、毎年開催)	
	16	年	3	月		・大洗センターを放射線安全管理功労事業所として文部科学大臣表彰受賞
			4	月	大洗センター名改称 旧 : 附属材料試験炉利用施設 新 : 附属量子エネルギー材料科学国際研究センター 重点課題共同利用研究開始	
			5	月		・「常陽」Naボンド型キャプセル照射試験に成功 *
10			月		・超ウラン化合物で初めてフェルミ面を決定	
17	年	4	月		・実機監視試験片(低照射速度・長時間照射)の脆化機構が加速照射試験と違う事を解明	
		11	月		・プルトニウム化合物で初めてドハース・ファンアルフェン効果を観測 ・水素化合物中性子吸収材を開発し高速増殖炉の新しい制御方式に道を開く	

			沿 革	実 績 (*は原子力機構との共同研究)	
18	年	1	月	大学院大洗特別講義の開催(以降、毎年開催)	
		4	月	ベルギー-SCK/CEN原子炉「BR2」、原子力機構「JRR-3」 利用開始 「常陽」温度制御型材料照射装置(MARICO)の照射開始	
		6	月		・バナジウムで不純物とは無関係なマルテンサイト相の形成を初めて発見
		8	月	JMTR改修に向けて、計画停止	
		10	月	「常陽」シャトル照射開始(SMIR)	
19	年	6	月	「常陽」照射停止(回転プラグ燃料交換機能異常発生)	
		7	月	BR II 照射済試料搬入(第1回)	
20	年	10	月	原子力機構(大洗)と研究協力協定締結	

## 歴代施設長

幸田	成康	教授	1969. 4	～	1970. 3
矢島	聖使	教授	1970. 4	～	1981. 12
鈴木	進	教授	1981. 12	～	1984. 3
諸住	正太郎	教授	1984. 4	～	1987. 3
平林	真	教授	1987. 4	～	1989. 3
茅野	秀夫	教授	1989. 4	～	1997. 3
松井	秀樹	教授	1997. 4	～	2007. 3
四竈	樹男	教授	2007. 4	～	